

# 社会資本総合整備計画 No2

## 静岡県における流域下水道による 汚水処理の推進

計画の期間 H22～H26(5箇年)  
交付対象 静岡県

## 計画概要

### 【計画の名称】

静岡県における流域下水道による汚水処理の推進

### 【計画の目標】

県内人口の30%を占める流域下水道計画区域の  
下水道整備を進めることによって、生活環境の改善  
と公共用水域の水質保全を図る。

### 【事業期間】

平成22年度～平成26年度

### 【計画の成果目標（定量的指標）】

- ①流域下水道による下水処理人口普及率の増加  
74.7%(H21末)→80.7%(H26末)
- ②全体計画処理能力に対する現況処理能力の増加  
44.7%(H21末)→52.4%(H26末)

# 静岡県社会資本整備重点計画における位置付け

## 第2期重点計画 (H20~H24)

		●指標① 流域下水道による下水処理人口普及率 ●指標② 全体計画処理能力に対する現況処理能力	
静岡県 社会資本整備 重点計画	分野名	環境・景観	同左
	目標名	良好な生活環境の確保	同左
	指標名	汚水処理人口普及率	下水道処理人口普及率
	目標値	68.8% (H19末) → 77% (H24末)	54.7% (H19末) → 61% (H24末)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

# 静岡県社会資本整備重点計画における位置付け

## 第3期重点計画 (H25~H29)

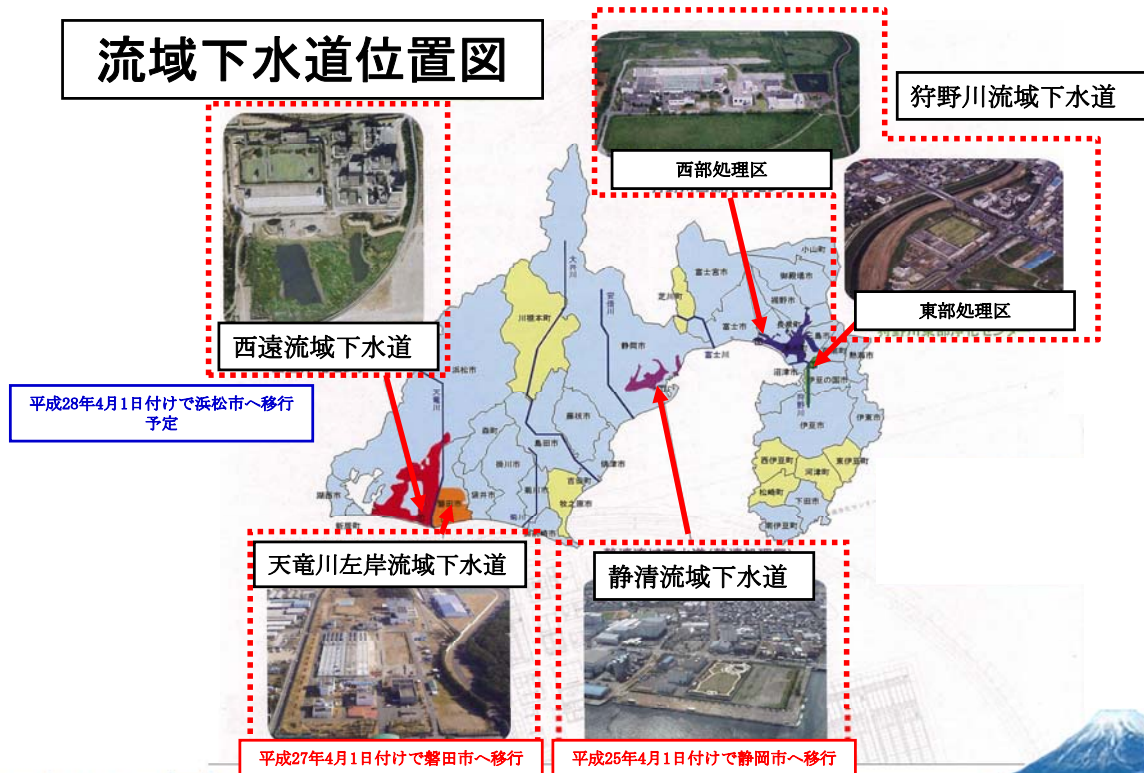
		●指標① 流域下水道による下水処理人口普及率 ●指標② 全体計画処理能力に対する現況処理能力	
静岡県 社会資本整備 重点計画	分野名	活力・交流	環境・景観
	目標名	豊かで活力あるまちづくり・緑と潤いのあるアメニティ空間の創出	資源の循環利用の推進
	指標名	汚水処理人口普及率	下水汚泥リサイクル率
	目標値	75.3% (H24末) → 79.4% (H29末)	96.1% (H24末) → 98% (H29末)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

# 静岡県の流域下水道

## 流域下水道位置図



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

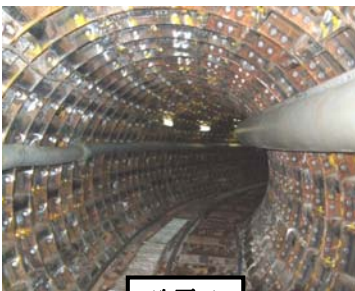
# 事業効果の発現状況①

指標①【流域下水道による  
下水処理人口普及率の増加】

## ◆事業の効果（西遠流域下水道）

西遠流域下水道における馬込幹線2条管  
L=8,064mの整備により、馬込第15-2処理分区、  
馬込第18-2処理分区の接続が可能になり、  
下水道処理人口として**約4万人を取込む**ことが  
可能となった。

シールド工事状況  
(仕上がり内径1500mm)

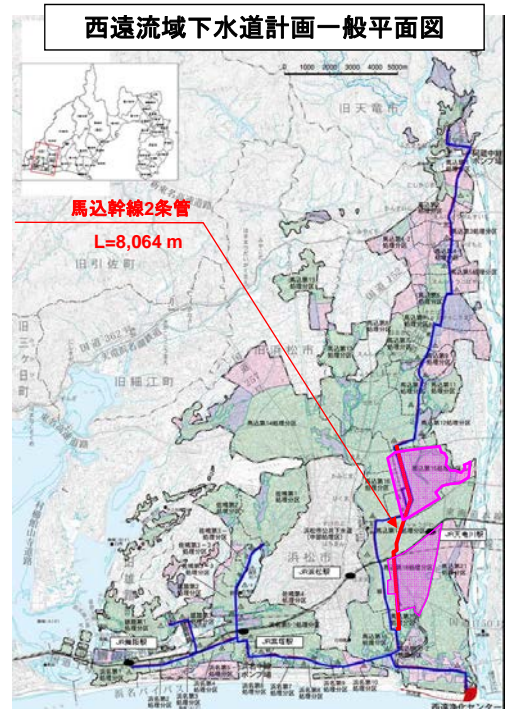


1次覆工



2次覆工

## 西遠流域下水道計画一般平面図



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

# 事業効果の発現状況②

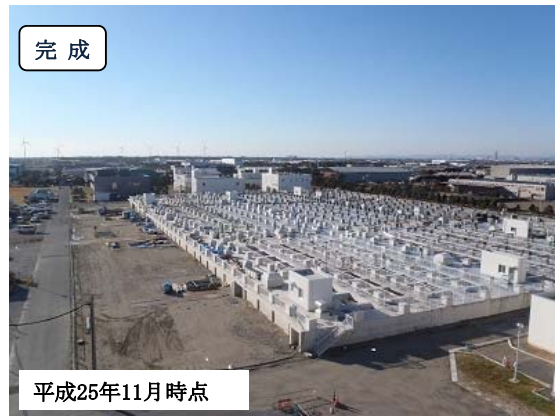
## ②【全体計画処理能力に対する現況処理能力の増加】

### ◆事業の効果（天竜川左岸流域下水道：磐南浄化センター）

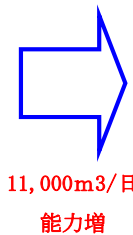
天竜川左岸流域下水道における磐南浄化センター水処理施設増設の整備を実施。処理能力が55,000m<sup>3</sup>/日から66,000m<sup>3</sup>/日となった。（11,000m<sup>3</sup>/日の能力増（約2万人分の汚水）この増設により、全体で**約13万人分の汚水を処理**することが可能となった。



処理能力55,000m<sup>3</sup>/日



処理能力66,000m<sup>3</sup>/日



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

7

## 定量的指標の達成状況

### 指標① 流域下水道による下水処理人口普及率の増加

当初現況値	最終目標値	最終実績値	達成率
74.7% (899,846人 / 1,204,796人)	80.7%	81.3% (976,971人 / 1,200,979人)	110%

- 計画していた管渠整備工事等は、予定どおり完了した。
- 最終実績値の普及率について、目標値を達成した。
- 達成率は110%となった。

### 指標② 全体計画処理能力に対する現況処理能力の増加

当初現況値	最終目標値	最終実績値	達成率
44.7% (382,500m <sup>3</sup> /日 / 856,600m <sup>3</sup> /日)	52.4%	56.6% (484,750m <sup>3</sup> /日 / 856,600m <sup>3</sup> /日)	155%

- 市町面整備の進捗により、計画していた水処理施設整備工事を前倒し、完了した。
- 最終実績値の処理能力について、目標値を達成した。
- 達成率は155%となった。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

8

## 今後の方針

### その他の効果の発現状況

○汚水を処理する過程で発生する下水汚泥について、年間約67,000m<sup>3</sup>発生するが、その全てをセメントの材料及び堆肥にリサイクルし有効利用した。

### 今後の方針

○流域関連市町と連携し、未普及区域の面整備促進及び計画的な処理施設の増設を実施し、さらなる生活環境の改善と公共用水域の水質保全に努めていく。